

ワクチン接種、この心配事を聞きました

釧路市でも19日、新型コロナウイルスのワクチン接種が高齢者施設で始まりました。65歳以上の市民に接種券も発送されました。でも、ワクチン供給の見通しが立たないため、予約受付については、改めて郵便で連絡をする予定です。

私のもとにワクチン接種について、いくつかの質問が寄せられましたので、担当課に問い合わせしました。今回はその内容を紹介します。



Q 全国で予約受付の電話が繋がらないという事態が頻発していますが、市ではそうしたことは起こらないの？

A ワクチンの供給量を踏まえ、①80歳以上、②72から79歳、③65から71歳に年齢を分

けて、予約期間をずらして受付することで、混乱を回避したいと思っています。しかし、すでにコールセンターにはかなりの問い合わせがきています。



Q 自分一人では予約を取れない人はどうするの？

A 介護保険の担当課などとも協力してケアマネや介護事業者からも声掛けをしてもらうことを考えています。

Q 足が悪いなどで、ひとりで接種会場へ行けない人の支援策はあるの？

A 具体的な支援策は用意はしていませんが、かかりつけ医院での接種では、い

つもとと同じ通院方法になる方が多いと思います。また、介護保険や障がい福祉などの外出支援のサービスもワクチン接種で使うことができます。

村上議員の感じたこと

国のワクチン供給の見通しが見えないことが、心配のおおもとにあります。市も混乱を心配し、対策を講じようとしていることは分かりますが、これで大丈夫とはいえない感じがします。コールセンターに一人で電話して、ときばき予約が取れる人だけではありませんし、受付の最初は電話がつながりにくくなるでしょう。全員が確実に予約、接種できるように対応していただきたいと思っています。

あわせて、鎌倉市、大阪の八尾市などがいち早く接種会場までのタクシーチケットの無償配布を決めました。集団接種会場までの臨時バスを運行するところもあります。道内では滝川市が、タクシーでの移動支援を予定しています。こうしたことに市も踏み込んで支援策を講じるべきではないでしょうか。

4月17日と24日、4野党が合同街頭演説会



左からのだ奈保子(立憲)、石川明美(共産)、宮田まどか(社民)、横田厚(新社会)の4氏



道2区補選での野党統一候補が実現したことを受けて、釧路地域で初の四野党の合同街頭演説会が、市民連合@くしろ・ねむろの主催で行われました。25日投票の道2区・長野選挙区の補選、広島選挙区の再選挙では、3つともに野党統一候補が勝利。総選挙に向けて「市民と野党の共闘」が大きく前進する契機となりました。ここ道7区においても、様々な違いを乗り越えて、市民と野党の共闘が進み始めました。市民連合を仲立ちに、4野党の定期協議も行われています。

石川明美さんの訴えがニューチューブで見れます



共産党を代表して、新型コロナ対策と市民と野党共闘による政権交代を訴える

石川明美 党地区副委員長

